

指導期間 平成15年9月1日～9月25日  
指導学級 西根町立東大更小学校第6学年  
男子3名 女子9名 計12名  
指導者 千葉真智（長期研修生）

1 単元名 「自分の考えを伝えよう」 意見文を書こう

2 単元について

(1) 単元について

本単元は、学習指導要領の第5学年及び第6学年の「B書くこと」の目標「目的や意図に応じ、考えた事などを筋道を立てて文章に書くことができるようにするとともに、効果的に表現しようとする態度を育てる。」に基づいて設定されたものである。ここでは、自分の考えを読み手に伝えるために意見文を書く学習を通して、目的や意図に応じた文章を書く力を育成しようとするものである。意見文は、ある事柄や出来事について自分の意見を述べて他者を動かそうとするものである。そのために、意見とそれを生み出す元になった理由から構成される。本単元では、福祉について意見文を書くことを行う。福祉について児童は老人福祉施設を訪問したり、障害者との交流活動を行ったりした経験がある。経験や資料を通じた事実や感想、自分の意見が文章に生かされやすいと考える。

(2) 児童について

児童は、これまでレポートやスピーチ原稿、ガイドブック、新聞記事など広く発信することを前提とした文章を書く学習では、事実と感想や意見とを分けて書くことについて経験してきた。しかし、普段の児童の文章を読むと、生活作文が多く、自分の意見をまとめて論理立てて書くことは少ない傾向にある。意見文など説明的な文章を必要に応じて書くという意識は十分に育っていないといえる。実態調査からは、全員の児童が文章を書く活動でつまづいた経験をしたことがあると答えている。このことから、文章を書くことに抵抗感をもっていることも考えられる。

(3) 指導にあたって

指導にあたって、本単元は、作文シラバスカードを用いて文章を書き進める。作文シラバスカードの活用により、一人一人の児童自身が活動の主体になれると考える。学習計画を立てた後、自分の考えを明確にもたせるための活動に重点を置きたい。何を書けばよいか、ということから迷う児童もいるので、意見文の土台となる活動をしっかり行いたい。次に、意見文の基本形に慣れ、筋道立った文章を書けるようにするために、構成の仕方を身に付けさせたい。発想から構成までの活動を要点を絞って行うことにより、推敲の視点も育つと思われる。また、この基本形はほかの文章にも活用できるので、学習の発展も期待できる。文章を書く活動は個人の活動が中心になってしまうので、自分の考えを深めたり、学び合ったりする機会を意図的に設け、児童同士

が理解し合いながら活動できるようにしていきたい。この指導をとおして、自分自身の意見とそれを支える事実・理由を明確にし、読み手が分かりやすい文章（説得できる文章）を書く力を育てたいと考える。

### 3 単元の目標

- (1) 自分の考えを明確に表現するために、文章全体の組み立ての効果を考えることができる。
- (2) 事実と意見を区別し、必要に応じた内容を論理立てて文章に書くことができる。
- (3) 視点に沿って文章を作り上げることができる。

### 4 単元の指導計画（全10時間）

第一次 学習の見通しをもつ（1時間）

（見通す） ・学習計画を立てる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

第二次 意見文を書く（8時間）

（作り上げる） ・自分の考えをもつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間

・構成をする・・ 1時間

・他の構成の仕方を見つける・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

・文の仕組みと言葉の使い方を考える・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

・意見文を書く・・ 1時間

・推敲をし、清書をする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間

第三次 学習のまとめをする（1時間）

（確かめ合う） ・発表会をし、評価する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

\*教材文は『光村図書 国語六年（上）』を用いる。

5 展開案

<第2.3時>

(1) 目標

意見文を書くために必要な自分の伝えたい考えを決め、裏付けとなる事柄を選ぶことができる。

(2) 展開

	学 習 活 動	指導上の留意点
導 入  (10)	1 前時の学習を想起し、本時の学習内容を 確認する  2 学習課題を把握する  3 自分の伝えたい考えをしっかりと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べ学習をするので、コンピュータ室で学習を行う</li> <li>学習内容を学習計画で確かめさせる</li> <li>できるだけ児童の言葉で学習課題を決めさせる</li> </ul>
展 開  (75)	3 テーマについてイメージをもつ <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いを通し福祉について知っていることを出し合う</li> </ul> 4 イメージしたことから自分の伝えたい考えをもつ <ul style="list-style-type: none"> <li>構想・構成表①を作成し、自分の伝えたい考えを見付ける</li> </ul> 5 自分の伝えたい考えの裏付けとなる事柄を探し、選ぶ <ul style="list-style-type: none"> <li>経験したことや本、インターネットでの検索などから自分に必要だと思われる事柄を探し出す</li> <li>構想・構成表②に探した事柄を入れ、本当に必要なものを選び出す</li> <li>キーワードを決める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お助けカード①を活用させる</li> <li>イメージを広げるために班ごとに話し合いをさせる(わいわい会議)</li> <li>お助けマップを作成させ、自分の意見をもたせる</li> <li>イメージが思うように広げられない児童には、個別に支援を行う</li> <li>お助けカード②を活用させる</li> <li>裏付けとなる事柄探しに時間のかかる児童には構想・構成表①に戻るなど、個別に支援を行う</li> <li>これは使えるよカードを作成させ、自分の考えの裏付けとなる事柄を選ばせる</li> <li>キーワードの見付け方を確認する</li> </ul>
終 末  (10)	6 学習のまとめをする <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の伝えたい考えの決め方を確認する</li> <li>感想を発表する</li> <li>自己評価をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発想の仕方を振り返る</li> <li>今までの学習との違いを比較させるために発表の観点を示す</li> <li>今日の収かくに本時の感想を書かせる</li> </ul>

「注」ゴシック体字は作文シラバスカードの内容や名称を示す。

(3) 評価

意見文を書くために必要な自分の伝えたい考えを決め、裏付けとなる事柄を選ぶことができたか。

<第4時>

(1) 目 標

段落の働きを理解し、論理的な構成の文章を書くための段落を組み立てることができる。

(2) 展 開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
導 入 (5)	1 学習内容を確認する  2 学習課題を把握する 選んだ材料を使って、段落を組み立てよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時に学習したことを確認してから、本時の学習内容を確認する</li> <li>学習内容を学習計画で確かめさせる</li> <li>できるだけ児童の言葉で学習課題を決めさせる</li> </ul>
展 開 (35)	3 例の文章を読み、論理的な構成の文章のよさを見付ける ・例文を読む ・気付いたことを話し合い、論理的な文章のよい点を見つける  4 論理的な文章の段落の働きを理解する ・論理的な文章の段落の働きをまとめ、構成の仕方を理解する  5 構想・構成表③を作成する ・構想・構成表③にキーワードを入れながら、中心になることを短い文で書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>論理的な構成の文章のよさを見付けさせるために視点に沿って話し合いをさせる</li> <li>お助けカード③を活用させる</li> <li>論理的な構成の文章の形を確かめさせ、組み立てカードを用いて文章の組み立てをさせる</li> <li>組み立てカードに書くときは、短文でキーワードが入っていればよいことを示し、長い文章を書く必要はないことを理解させる</li> </ul>
終 末 (5)	6 学習のまとめをする ・論理的な構成の文章の形を確かめる ・感想を発表する ・自己評価をする	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成の仕方を振り返る</li> <li>今までの学習との違いを比較させるために発表の観点を示す</li> <li>今日の収かくに本時の感想を書かせる</li> </ul>

「注」ゴシック体字は作文シラバスカードの内容や名称を示す。

(3) 評 価

段落の働きを理解し、論理的な構成の文章を組み立てることができたか。

<第7時>

(1) 目 標

構想・構成表③を基にして論理的な構成の意見文を書くことができる。

(2) 展 開

	学 習 活 動	指導上の留意点
導 入  (5)	1 学習内容を確認する  2 学習課題を把握する 自身の伝えたいことを意見文に書こう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時までに学習したことを確認してから、本時の学習内容を確認する</li> <li>・ 学習内容を学習計画で確かめさせる</li> <li>・ できるだけ児童の言葉で学習課題を決めさせる</li> </ul>
展 開  (25)	3 構想・構成表③を確認し、意見文を書くために必要な要点を押える <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構想・構成表③に書いた段落の中心文を詳しく書く工夫をする</li> </ul> 4 意見文を書く <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4段落構成、1段落1項目の文章を書く</li> <li>・ キーワードを用いて書く</li> <li>・ 論理的に構成された文章を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ お助けカード⑥を活用させる</li> <li>・ 組み立てカードを基にし、相手や目的意識をもたせながら意見文を書かせる</li> <li>・ 言葉や漢字を調べるときのために、辞書を用意させる</li> <li>・ 机間巡視をしながら児童の書く様子を把握し、必要に応じて個別指導を行う</li> </ul>
終 末  (10)	5 学習のまとめをする <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 論理的な文章構成の意見文の書き方を確かめる</li> <li>・ 感想を発表する</li> <li>・ 自己評価をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 論理的な文章構成の意見文の書き方を振り返る</li> <li>・ 今までの学習との違いを比較させるために発表の観点を示す</li> <li>・ 今日の収かくに本時の感想を書かせる</li> </ul>

「注」ゴシック体字は作文シラバスカードの内容や名称を示す。

(3) 評 価

構想・構成表③を基にして論理的な文章構成の意見文を書くことができたか。

<第8. 9時>

(1) 目 標

自分の書いた文章を視点に沿って推敲し、読み手に分かりやすい文章に仕上げることができる。

(2) 展 開

	学 習 活 動	指導上の留意点
導 入 (10)	1 学習内容を確認する  2 学習課題を把握する 作文を読み直し、もっと分かりやすい 作文に仕上げよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時に学習したことを確認してから、本時の学習内容を確認する</li> <li>学習内容を学習計画で確かめさせる</li> <li>できるだけ児童の言葉で学習課題を決めさせる</li> </ul>
展 開 (75)	3 推敲の視点を話し合う <ul style="list-style-type: none"> <li>どんなことに気を付けて読み直しをすればよいかを話し合う</li> </ul> 4 自分の文章を推敲する <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の書いた文章を視点に沿って推敲する</li> </ul> 5 友達の文章を推敲する <ul style="list-style-type: none"> <li>二人組みになり、相手の文章を読む</li> <li>視点に沿って推敲する</li> <li>友達が気付いていないよいところ、直したほうがよいと思うところを出し合う</li> </ul> 6 清書をする <ul style="list-style-type: none"> <li>友達の意見を参考にして更に分かりやすい文章にする</li> <li>清書をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お助けカード⑦を活用させる</li> <li>児童から適切な視点が出されないときは、教師から視点を提示する</li> <li>視点は児童の理解しやすい言葉で表す</li> <li>キーワードや構成内容を思い出すために、これまでの作文シラバスカードを見直しながらか推敲をさせる</li> <li>特に、読み手に分かりやすい文章になっているかに気を付けながら友達の文章を推敲させる</li> <li>&lt;仕上げ方&gt;を参考にして自分の文章を更によいものにできるように個別に指導を行う</li> <li>清書が早く終わった児童は、発表の練習をさせる</li> </ul>
終 末 (10)	6 学習のまとめをする <ul style="list-style-type: none"> <li>読み手に分かりやすい文章にするために気を付けることを確かめる</li> <li>感想を発表する</li> <li>自己評価をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>推敲の視点を振り返る</li> <li>今までの学習との違いを比較させるために発表の観点を示す</li> <li>今日の収かくに本時の感想を書かせる</li> </ul>

「注」ゴシック体字は作文シラバスカードの内容や名称を示す。

(3) 評 価

自分の書いた文章を視点に沿って推敲し、読み手に分かりやすい文章に仕上げることができたか。